

ラベルニュース

No375

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

平成 27 年 11.12 月合併号
編集:広報・情報システム委員会
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

第 57 回年次大会大阪大会

全国から 370 名が参加し盛大に開催



全国から 370 名が参加した第 57 回年次大会大阪大会

全日本シール印刷協同組合連合会主催の「第五十七回年次大会・大阪大会」は、十月九日(金)午後三時半より「ヒルトン大阪」に於いて、シール印刷大阪府協同組合の担当で開催され、全国から組合員・会友、協賛会、報道、来賓など、三百七十名が参加し、商売の町大阪で、参加者全員が景気回復を誓いました。

式典は国歌斉唱の後、先輩物故者への黙とう、来賓並びに役員の紹介が行われ、担当協組を代表して疋田賢司理事長が「今大会は『新しい時代に向かって』をメインターマに掲げたが、先日本大阪の古い商家を訪れる機会があったが、その時に江戸自体の商人の家訓を見せただきました。その中には『近所に同業者が出

来たら厚誼を厚くして互いに励めよ」とありました。大阪は昔から同業者を大事にする習慣がある。我々ラベル印刷の同業者が互いに厚誼を厚くして知恵と力を出し合えば、必ず新しい時代を迎えることが出来る」と訴えました。

続いて主催者を代表して田中浩一会長が挨拶に立ち「ラベル業界はここ最近厳しい状況下にあります、こうした場合、商売の町大阪で大会を開催する意義は大きいと思います。今日ご出席の皆様が是非『大阪商人の基礎』を理解する機会となるよう期待したい。年に一回の大会ですので、親睦を深め、情報交換をしてビジネスに役立てて頂きたい」と語りました。

この後出席したご来賓の祝辞があり、連合会報告と続き、恒例の組合功労者表彰として、四協組五名が表彰されました。

第二十五回シール・ラベルコンテストの入賞作品表彰では、全国の組合員・会友から応募のあった四十九社、一〇三作品の中から、厳重な審査の結果経済産業大臣賞(株シモクニ)のほか、各賞を受賞した各社に表彰状が手渡されました。

当組合からは、サンメックが自由課題で日印産連会長賞を、日本ラベルが規定部門(平圧)で優秀賞を受賞しました。



副理事長 近藤健司氏(宣進印刷)が逝去

当組合副理事長の近藤健司氏(宣進印刷)代表取締役会長)は、病氣療養中のごとく十月二十一日に逝去されました。葬儀は故人の遺志により家族葬にて執り行われました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大阪の青年部長の小原隆氏が大会宣言を読み上げ、次回開催地である九州の濱崎順一理事長の閉会の辞で幕を閉じました。

式典終了後、別室に於いて午後五時十五分より懇親会が開催され、正田理事長の挨拶の後、永坂雅彦元理事長の音頭で乾杯し、アトラクションとして、梅花女子大学のチアパフォーマンスと、ハワイアンバンドによるハワイアンとフラダンスがあり、一年ぶりの再会を喜ぶ姿があちこちで見受けられました。

翌日は「宝塚ゴルフ倶楽部」に於いて懇親ゴルフが行われ、関西の名門ゴルフ場で八組が腕を競いました。



ラベルコンテストの表彰式風景

東京都中小企業団体中央会の「小規模事業者持続化支援事業」の、第二回セミナーが十月二十一日(水)午後六時より根台東区上野公園の「上野精養軒」において開催されました。同事業は事業承継などに対して小規模零細企業を支援しようというもので、三回にわたって事業承継などを中心セミナーを開催するもので、八月に第一回目が開催され、今回が二回目でした。

第2回承継セミナー開催

具体例交えながら実践的な内容

自社株の評価や遺言書の書き方

今回も特定社会保険労務士の佐藤良道氏が講師となり、「事業承継になぜ対策が必要なのか」をテーマに、具体例を挙げながら説明しました。

また、なぜ自社株を後継者に渡すのが難しいのかについては、生前に渡せば重い贈与税がかかり、売買では贈与所得税がかかり、死んでからでは相続税がかかってしまうため、さらに贈与税を安くする方法についても細かく説明しました。

佐藤氏は「オーナーには社長と株主の二つの立場があり、会社の経営を誰かにバトンタッチするには、バトン(株)の引継ぎが必要となる。しかし、この自社株の価格が思いのほか値上がりしていることがあるので、土地や投資有価証券、保険積立金、借入金、利益剰余金、自己株式などを見直し、自社株の計算をすることを勧めたい」としました。

そして自社株の価格を下げるには、役員退職金の支給の順番でいくことがいいが、この順番を間違えると仲の良い兄弟が争うことになることも警告した。

財産を一番分けやすいのは現金であるが根現金は相続税が一番高いので、被相続人のジレンマでもあるとした。



最後に遺言書を書いておくことが大事で、それがなかったために、大きな争いになった例などを挙げて、講演の最後を締め括った。

組合賦課金見直しについて 皆さんのご意見をお寄せ下さい

既報の通り、組合では現在賦課金の見直し作業を進めています。

二十年ぶりの改訂になるため、現在の規模割り、均等割り、そして対象機種の分類などを大幅に見直し、誰もが納得できるものにするために現在作業を続けています。

そもそも組合は組合員の方々からの賦課金と組合取扱商品の売上などの事業収入が大きな柱となっています。

そこで組合では、組合員の皆さんから今回の賦課金見直しについてのご意見をお伺いすることにしました。賦課金見直しに対する建設的なご意見を頂き、これを反映していきたいと思っております。

健全な財源なくして

健全な組合活動は成り立ちません。これまでも組合は皆さんから頂戴した組合費を、組合事業推進のために有効に使うて参りました。

しかし、ご承知の通り、この二十年間の物価の上昇には、人件費等の経費の削減だけでは限界があり、組合員の減少等もあり、この度賦課金の見直しをすることになった次第です。

来年は組合創立五十周年の佳節を迎える事になります。『一社では出来ないことを、数の力で』という、組合の相互扶助精神を今後とも維持するために、何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。

日印産連が販売
セミナーも開催予定
マイナンバー取扱い
ハンドブックを!

日本印刷産業連合会(会長・稲木歳明)は、来年一月よりマイナンバー制度が始まるのに対応した「マイナンバー取扱ハンドブック」を十一月十六日より発売しました。

来一月以降、全ての事業者は従業員、扶養親族及び

支払調書該当者等の個人番号(マイナンバー)を取り扱うこととなります。日印産連では「ガイドライン」の求めに対応するとともに、印刷業界においてマイナンバーの適正な取扱いの仕組みを広く浸透させることを目的に、事業者が規程類を

策定する際の参考となるモデル規程を収録した『マイナンバー取扱ハンドブック』(約一二〇頁)を発行し、

あらゆる印刷会社や一般企業にも提供(価格・会員および加盟企業二千五百円、一般・四千元 各税込)。

このハンドブックの特徴は、1.「ガイドライン」が示す必要な規程、様式のひな形を網羅。巻末CDによるデータ提供により事業者が独自に様式を設計することなく、そのまま入力することが可能になり、業務の負担を大幅に軽減します。

2.既にPMS(個人情報保護マネジメントシステム)を構築している事業者など、事業者の状況に合わせて規定内容をカスタマイズできるようにコメントを記載。

3.印刷産業の多くが中小規模事業者であることから、特に中小企業における取扱い方法に特化したマニュアル「特定個人情報取扱いの適正取扱いマニュアル(中小規模事業者編)」を提供し、多くの中小企業の業務をサポートしています。

日印産連では、このハンドブック発行以降、各地でマイナンバー取扱いに関するセミナーなども実施し

第十七回ラベル関連ミニ機材展 今回も正札と神奈川の協賛で

業界の恒例行事となった「第十七回ラベル関連ミニ機材展」は、十一月十四日(土)に開催され、十八社が最新鋭資機材を展示し好



評を博しました。

当日はあいにくの天気にもかかわらず、今や業界の恒例行事にもなった同展に朝早くからたくさんの方が見学者が訪れました。

昨年からは東京都正札シール印刷協同組合と神奈川県シール印刷協同組合が協賛となったために、田中浩一理事長や早川正彦理事長も会場を訪れ、三協組組合員や会友、中には遠く九州の組合員も参加し、関心の高さを裏付けました。また、シール印刷業者だ



けでなく、一般印刷業者やエンドユーザーなどの顔も見えました。

今回も昨年に引き続き、神奈川の山下庫太氏が講師となって「技術伝承セミナー」と題して、一時間におたつて講演を行い、「逆転の発想が身を救う」「なぜ、と常に疑問に感じることの重要性」などについて熱っぽく語りました。

また、午後からは出展十四社によるプレゼンテーションが開かれ、5分間の持ち時間の中で、各社とも自社の製品の売り込みに懸命でした。

ある出展者は、「一社単独でプライベートショーをやるには、金額も人員もかなりかかるので、こうしたミニ機材展に出展するのが一番いい。次回も出すつもり」と話していました。

午後四時に機材展終了後五時より、有志による懇談会が開催され、出展者や三協組の理事長などが、ミニ機材展に関する意見交換を行い、次回以降の参考となる意見が多く出されました。

産業交流展二〇一五

丸子ラベル印刷が

胸りボンシール展示

組合員の丸子ラベル印刷(鷹野良治社長)は、十一月十八日から三日間、東京ビックサイトで開催された東京都主催の「産業交流展二〇一五」に出展しました。

同展は東京都が毎年都内の中小企業者の産業振興のために開催しているもので、国内最大級のトレードショーとして定着しています。

丸子ラベル印刷は、異業種団体ゾーンに加盟しているT A S Kの小間に、昨年優秀賞を受賞した「胸りボンシール」を展示し、来場者の注目を集めました。



産業交流展に出展した鷹野社長

■どんな病気か

ある日突然耳が聞こえなくなつたという経験をしたことは有りませんか。

かぎゅう

内耳の蝸牛が何らかの原因により障害を受けたため、突然に生じる難聴を特徴とする病気です。

その障害が内耳のぜんていはんきかん前庭半規管にまで及ぶと、

No135 健康がいちばん!

突発性難聴とはどんな病気

ウイルス説など原因は不明

害説などが考えられていま

■症状の現れ方

文字どおり突然に発生する難聴です。通常、片耳に発生することが多いのですが、まれに両耳に同時に発生することもあります。また、耳鳴りやめまいが難聴の発生と前後して生じることがあります。なお、めまいには吐き気や嘔吐を伴うことがあります。

■難聴の種類

伝音難聴

「外耳」や「中耳」に障害が起きている難聴です。中耳炎などの炎症が起きたり、耳垢がたまっていることで起きます。

感音難聴

音を電気信号へと変換する「内耳」に障害が起きている難聴です。内耳の障害は、大きな音を長時間にわたって聴きすぎたり、老化や薬物によって発生することがあります。原因がはっきりしないケースも多々あります。

■検査と診断

突然に難聴が発生した場合、難聴の原因がどこにあるかを診断する必要があります。そのためには、耳鼻咽喉科での診察、耳のX線検査、純音聴力検査が必要です。場合により、精密な聴力検査や平衡機能検査も必要になります。

なお、突発性難聴では、聴力の改善・悪化を繰り返すことはありません。その場合には、メニエール病という病気が疑われます。では、突発性難聴として初発する場合があります。聴神経腫瘍が疑われる場合には、MRI による画像診断が必要になります。

■治療の方法

難聴が発生してから、できるだけ早期に治療を開始するほど予後が良好である（聴力が改善する）といわれています。遅くとも発生から2週間以内に治療を開始するのが望ましく、1カ月をへた場合には、予後は極めて不良になり、通常は著しい改善が望めません。

一般に、聴力が悪い場合にめまいを伴っている場合に

予後が悪いことが知られています。

副腎皮質ステロイド薬、循環改善薬、ビタミン薬などの多剤併用療法を中心とした治療法が多く、病院で行われています。

■病気に気づいたらどうするか

予後を正確に推定する検査と診断はないのが現状です。そのために、突発性難聴が疑われたら、耳鼻咽喉科を受診することで早期に診断を行い、できるだけ早く治療を開始することが重要です。

突発性難聴は治療の開始が遅いほど聴力が戻りにくくなってしまう病気です。そのため、耳の異常を感じたら、2日以内、できれば1週間以内、遅くとも2週間以内には必ず耳鼻科医に診てもらってください。

《引用資料》

<http://medical.yahoo.co.jp/katei/110436000/?disid=110436000>

■原因は

原因は不明です。今のところ内耳の障害の原因としてウイルス感染説、循環障

難聴にめまいが伴って起こります。

化研産業(台東区東上野五の十二の五 〇三八四一―五七七―)では、このほど超極圧潤滑剤「NASKLUB」を、超高性能極圧・防錆・耐水グリース「ナスカブル」を組合員

向けに販売し好評を博している。これまでの潤滑剤は使用対象、使用条件によりその最も大きく要求される特性、例えば耐過重性、耐熱性等のみに偏重して、摩擦抵抗

の高さを止むを得ないものとしたり、果汁特性に対しては油の粘度のみの対応で能力が判断されてきたのに対し、超極圧潤滑剤「NASKLUB」は、潤滑剤として要求される左記のよ

うな特性を満たしており、いわゆるマルチパーパスな潤滑剤。

① 衝撃を小さくする(動力を少なくする)。
② 摺動運動を円滑にする(動きを円滑にし、安定させる)。

③ 摩耗を防止する(部品、機械の寿命を延ばす)。
④ 摩擦面の損傷を防ぐ(故障を防ぐ)。

⑤ 発熱、焼き付けを抑制する(故障を防ぐ)。
⑥ 防錆(部品機械を長持ちさせ、故障を防ぐ)。

⑦ 振動、騒音を抑制する。こうした特性によりNASKLUBを使用することによってこれまでにない潤滑特性を得ることが出来、部品機械等の寿命を長期に

わたリ延長し、動力を含めたトータルな面でコストダウンが図れます。

用途としては、工作機械、印刷機械、製本機械、食品機械、プレス機械等工業機械の摺動面、ベアリング、チェーン、スプロケット等の潤滑剤として。

先日のラベル関連ミニ機材展にも出展し、試験機によるテスト結果に注目が集まりました。

超極圧潤滑剤「NASKLUB」を 他社製品と比べ圧倒的な特性が評価

